

IPv6 を用いた環境分野のクラウドサービスワーキンググループ の設置について

1. 目的

「IPv6 によるインターネットの利用高度化に関する研究会」（以下「研究会」という。）における検討内容のうち、IPv6 を用いた環境分野のクラウドサービスに係る事項について、より専門的な観点から検討を行うため、ワーキンググループを開催する。

2. 名称

ワーキンググループの名称は「IPv6 を用いた環境分野のクラウドサービスワーキンググループ（IPv6 環境クラウド WG）」とする。

3. 検討内容

IPv6 環境クラウド WG では、IPv6 を用いた環境分野のクラウドサービスに係る以下の事項について検討する。

- ① IPv6 環境クラウドサービスの構築・運用に資するセキュリティ確保等技術的課題の解決方策
- ② IPv6 環境クラウドサービスの利用促進方策
- ③ その他

4. 主査、構成員

- 1) 主査及び構成員は、研究会座長が指名する。
- 2) 主査は本 WG を招集し、主宰する。
- 3) 副主査は主査が指名する。
- 4) 主査は上記のほか、本 WG の運営に必要な事項を定めることができる。

5. 庶務

本 WG の庶務は総合通信基盤局データ通信課が行う。

6. 会議の公開

本研究会の会議、資料、議事要旨は、原則、公開とする。

ただし、本研究会の開催に際し当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合等、主査が必要と認める場合は、その全部又は一部を非公開とする。

公開は、総務省のホームページへの掲載によることとする。

IPv6 によるインターネットの利用高度化に関する研究会
IPv6 を用いた環境分野のクラウドサービスワーキンググループ 構成員

(敬称略、五十音順)

◎：主査、○：副主査

- ◎ 江崎 浩 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
- 中村 修 慶應義塾大学 環境情報学部 教授
- 今井 恵一 社団法人テレコムサービス協会 政策委員会 委員長
- 今田 正実 特定非営利活動法人 ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム 常務理事
- 内山 昌洋 パナソニック システムネットワークス株式会社 技術統括2グループ 標準化・渉外推進室 参事
- 緒方 司郎 オムロン株式会社 環境事業推進本部 技術担当部長 (第3回~)
- 喜多 裕彦 社団法人電気通信事業者協会 企画部長
- 北村 倫夫 株式会社野村総合研究所 経営革新コンサルティング部 上席コンサルタント
- 木下 剛 シスコシステムズ合同会社 専務執行役員 テクノロジー担当
- 坂口 肇 UQコミュニケーションズ株式会社 マーケティング戦略部長
- 紫関 昭光 日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド・コンピューティング事業 クラウド・ソリューション 理事
- 高瀬 晶彦 株式会社日立製作所 情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部 主管
- 立石 聡明 社団法人日本インターネットプロバイダー協会 副会長
- 田中 寛 KDDI株式会社 技術渉外本部 企画調査部 企画調査部長
- 出口 幹雄 富士通株式会社 クラウド実装/検証センター プロジェクト統括部長
- 馬場 覚志 NTTコミュニケーションズ株式会社 u-Japan 推進部 部長
- 原田 典明 日本電気株式会社 プラットフォームマーケティング戦略本部 シニアマネージャー
- 松本 佳宏 株式会社ケイ・オプティコム 通信サービス技術本部 計画開発グループ ネットワーク技術開発チーム チームマネージャー
- 宮坂 肇 株式会社NTTデータ 技術開発本部 ITアーキテクチャ&セキュリティ技術センター 部長
- 三膳 孝通 株式会社インターネットイニシアティブ 常務取締役 技術戦略担当

(平成 22 年 5 月 11 日現在)